



## ★第28回定期総会報告

進行 木下副会長

総会 成立宣言

市川会長あいさつ

- ・冒頭 東日本大震災の犠牲者の方々に甲斐を表し、一日も早い復興を祈念し、「黙祷」を行った。併せて復興支援の義捐金の募集の呼びかけを行った。
- ・楽しく、安全に、仲良く、をモットーに無事全行事を終えることができ、皆様のご協力に感謝を表明。
- ・当面の行事として、3月さくらレース、プチクルは中止。復興支援の義捐金募集活動への協力を呼びかけがあった。

第1号議案 2010年度を振り返って

佐藤副会長より議案書の基づき報告

第2号議案 2010年度決算報告

筒井会計担当理事より報告があり

<質問>従来のように事故に備えた予備費は無いのか? (大谷)

<回答>2009年度から会員減少などで計上の余裕をもていない。事故対策は保険で賄う。来期から蓄えていく予定である (筒井)

会計監査報告

土井会計監査より処理は適切な報告があった。

第3号議案 2011年度活動方針

佐藤副会長から議案書に基づき提案があった。

<意見>体験試乗会ボランティア参加の若者などをクラブに迎え入れるためのフォロー活動を積極的に行うべきだ。(吉田)

<質問>国際VHFの74Ch運用について、J-SAFに規制緩和を求めるなど小委員会を設けて取り組むべき。(吉田)

<回答>免許のいらない、簡易無線(特定小電力)もふくめ、検討(佐藤)⇒通信の小委員会で継続検討

第4号議案 2011年度予算

筒井会計担当理事から議案に基づき提案があった。

<意見>東日本大震災の義捐金として、クラブとして10万円、個人の義捐金が例えば8万円集まった場合2万円プラスアルファの計上を提案する。(吉田)

<意見>義捐金は、日本赤十字社を通じると一般の人に渡される。それは会社や街頭で皆さんが実行している。ヨットクラブとしては直接海の仲間に渡す方法がいいと思う。(大谷)

<意見>JSAFも義捐金を募っており、方法をもっと検討したほうが良い。(塩田)

この点を踏まえて理事会にて検討のうえ決定。結果を報告することとする。

第5号議案 2011年度行事予定

佐藤副会長から議案書に基づき提案があった。

- ・トワイライトレースは7月30日に予定する(佐藤)
- ・レースの年間エントリーは1レース減となり、つつじレース時に受付ける。(8000円/艇)(佐藤)
- ・ディンギーレースへのレース委員会の協力を願いたい(四カ所)⇒3レースはレース委員会のもと、後の3レースは自主運営もやむを得ない(佐藤)
- ・クラブ員の交流を深めるべくスキーや温泉旅行などの企画を加えたい。(佐藤)
- ・淡々レースは、今年も60艇程度の参加が見込まれる。今年度は当クラブがホストでありパーティなどの受け入れ態勢・準備が必要。(佐藤)

1号議案～5号議案が一括採決、全員一致で承認された。

第6号議案 規約改正提案

会則第5条会員の権利の(2)項、準会員の権利に、3)その艇の正会員の推薦を受け、理事会の承認を得た場合、理事に立候補することができる。但し総会における議決権は有しない。を加えることが市川会長より提案があり議案通り承認された。

第7号議案 新役員選出

今年度の役員・理事全員の留任と、新理事として、JYORIDE 塩田、ZERO 村田 両氏が理事会推薦で立候補し、承認された。その後、新役員の紹介を行った。

新年度に臨み市川会長より、共に協力して、より元気で、楽しいクラブづくりをとの決意と、呼びかけがあり閉会。

理事および重営委員の役員分担と総会の様子は次ページです。



総会の前に黙祷し東日本大震災で犠牲になった方々に哀悼の意を表しました

## 新理事紹介

村田新理事



塩田新理事



# つつじレース 4月17日



ミーとする響とS. O. SHIWAKU

さくらレースが大震災による自粛のため今年初のレースとなりました。、大震災復興支援チャリティーオークションがレース後に行われるため1レースのみでしたが、そこそこ風が吹き楽しむことが出来ました。



IRC優勝のEMI



IRC2位  
リュウセイ6



IRC3位チビスル  
残念ながら潮に流されマ  
クタッチしてしまっ



IRC4位  
S. O. SHIWAKU  
船底の汚れのせいか成績は  
振るわなかった



オープン優勝  
ヒートウエイブ

オープン2位の響



オープン3位の海燕2



オープン4位  
キラキラ



オープン5位の  
プチスター  
久しぶりの参加です



オープン6位のヤジロベイ  
新しい艇で挑戦したが、慣  
れていなかったのか残念な  
結果となった

## フランス艇「MARIANNE」出港

4月28日



### 出港するMARIANNEと伴走するVIVACE

越冬した外国艇で出航が最後となったフランス艇「マリアンヌ」が、28日1300時淡輪を出港しました。

当初の予定は東京経由アラスカ向けでしたが、大震災の関係でコースを変更、瀬戸内海を抜けて、日本海を北上、北海道からの離日になる模様です。

最初の寄港地は新西宮、以後小豆島など瀬戸内海の数か所を訪問予定です。

乗り組みは奥さんのドミニクさんで、新西宮までは石垣島から帰ったばかりのポカポカの近藤さんが同乗しました。艇長のジョエルさんは忙しい人で、交流にあまり時間が取れませんでした。淡輪のホスピタリティーは素晴らしく来訪する外国艇も増えるだろうと感謝しておられました。

なお、ビバーチェとドミンゴⅢが沖まで見送りました

### POCAPOCA近藤氏を乗せ出港するMARIANNE



**気をつけてね～！**  
**航海の安全を祈ります！**

## 「マリンVHF講習会」

について

淡輪ヨットハーバーでは、海上での交通安全のため「第3級海上特殊無線技士免許講習会」(国際VHF)の講習会を検討されています。講習会については申し込み人数が30名以上で開催となります。開催時期は未定ですが、近場で免許が習得できるいい機会です。興味のある方はハーバー事務所までお問い合わせください。

## 訃報

本造美艇で我がクラブの誇りでもある

「いろは丸」のオーナー、井上敏機さんが、6月7日未明に亡くなりました。

優雅にセーリングされていた在りし日を偲び、ここにご冥福をお祈り申し上げます。

大阪ベイ淡輪ヨットクラブ

会長 市川 晴朗

関空一周ヨットレースは次号に掲載予定です。お楽しみに

2011年度 大阪ベイ淡輪ヨットクラブ役員分担

会長	市川 晴朗
副会長	宝迫 皓一 (総務) 佐藤 明 (兼レース委員長) 木下 肇 (BW、安全・通信)
理事	総務 事務局 服部 卓矢 (HP 含む) 村田 雅央 (事務局アシスト、クリスマスPT、 新年会準備責任者) 矢野 裕一 (ノクチルカ編集長・議事録担当)
	会計 筒井 秀樹
	ホスピタリティ 柿原 勲
	イベント 村瀬 昌稔 (淡々レース受け入れ責任者) 大橋 比都志 (マリンフェスティバル責任者) 塩田 雅英 (30周年準備委員会&東日本大震災 災義捐金プロジェクト担当)
	レース 間下 正司 (兼 渉外・施設) 四ヶ所 雄宏 大澤 孝治
専任	BW 谷 龍二 (BW 委員長プチクル責任者・体験試 乗会取りまとめ)
	プレジャーポー ト 今中 哲夫 (PB 委員長・PB の入会促進・PB 部 会の確立)
運営委員	吉田 恒男 (ノクチルカ編集アドバイザー、通 信アドバイザー) 高野 修・田中 徹 (ノクチルカ編集・作成)
会計監査	土井 親彦



チャリティーオークション  
4月17日

オークションのため持ち寄られた品々

東日本大震災の義援金を送るため、みんなが持ち寄った出品物をつつじレースのあと、オークションにかけ大いに盛り上がりました。



おなじみ佐藤理事の軽快な司会によりオークション開始

進行を行う木下理事



目的のものをゲットしたオークション参加者



挨拶する市川会長

総会の様子  
発言する吉田氏



さくらレース成績表

クラス	艇名	艇種	着順	修正順
IRC	EMI	Mumu36	1	1
IRC	Ryusei-6	FARR-34IMS	2	2
IRC	チビズル	SEAM31	3	3
IRC	sprit of shiwaku	mumu30	4	4
OA	HeatWave	Farr-25PL	2	1
OA	響	Y262T	3	2
OA	海燕II	X-99	1	3
OA	キラキラ	Y31S	4	4
OA	プチスター	J24	5	5
OA	YAJIROBEY	J24	6	6

お知らせ

さくらレースと第1回プチクルは、東日本大震災の発生により自粛いたしました。

総会終了後、簡単な懇親会が行われた

